事例No.	1172
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	茨城県牛久市

事例区分	一般行政

タグ	・情報公開 ・教育・子育て ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

自然観察の森での木育活動の充実

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

茨城県　牛久市（自然観察の森での木育活動の充実）

- 牛久市では、牛久自然観察の森の活動を通じて、国内の森林整備の結果、産出される間伐材の利用や、広く市民にその利用について普及啓発に取り組むことに森林環境譲与税を活用していく方針である。
- 令和元年度においては、以下の取組により、牛久市産の間伐材を利用した木製玩具「くまのようちえん」等を製作する木材利用と、施設内の木育ひろば及びイベントでの外部出展にて森林資源についての普及啓発を行った。
  - 市内にある牛久自然観察の森にある木育ひろばにて、赤ちゃんから大人までを対象に木のおもちゃと触れ合い、温もりを感じたり、香りに包まれる体験を通じ、材料となる木を通じて、森林への興味を持ってもらうきっかけづくりや森林資源の普及啓発活動を行った。
  - 自然観察の森内での木育イベントや市のイベント等での外部出展にて木製玩具を通じて、森林への興味を持ってもらうきっかけづくりや森林資源の普及啓発活動を行った。

□ 事業内容

自然観察の森での木育活動の充実

- 施設内の森林整備及び伐採後の間伐材を利用し、木育ひろばで遊べる木製玩具等を製作。施設内及び外部出展にて、普及啓発を実施。

【事　業　費】41,840千円（うち譲与税3,909千円）

【実　　績】木育ひろば利用人数　　年間　12,396人

外部出展イベント参加者数　352人



（親子がひろばで遊ぶ様子）



（県産木材で製作した木製玩具遊ぶ様子）

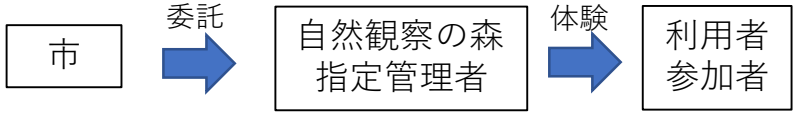




（施設内の間伐材で製作した木製玩具「くまのようちえん」）

□ 事業スキーム

自然観察の森での木育活動の充実



□ 工夫・留意した点

- 木育ひろばの木製玩具が充実したことにより、前年度比110%の利用者数となり、森林や木材について身近に感じることができる場として活用できた。
- また、木育ひろば及び外部出展にて、森林整備や木材利用の重要性を記したチラシを配布し、普及啓発を行った。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	3,909千円
②私有林人工林面積（※１）	509ha
③林野率（※２）	18.6%
④人口（※３）	84,317人
⑤林業就業者数（※４）	3人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」